



文京区青少年プラザ
ビーラボ

b-lab通信 第22号

(すこしだけおとなになんかなれなくて
かみだけをきるくがつついたら)

今月の短歌は、高校二年生女子が詠みました。



少しだけ大人になんかなれなくて
髪だけを切る九月一日

b-lab通信とは？2015年4月1日にオープンした区内初の中高生向け施設「b-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校及び高等学校等の教員の皆様に向けて発信する報告書です。

夏休みも終わり、b-labでは多くの中高生が文化祭の準備や練習に精を出しています。部活によって、あるいは学年によって向き合い方は異なりますが、それぞれが自分のできることに挑戦している姿が見られます。

b-labでも4月から自分自身で目標設定して活動を続けてきた9期中高生スタッフが8月で解散となりました。5ヶ月間、様々な挑戦や体験をしたと思います。8月22日(火)の夏フェスの最後に解散式を行い、5ヶ月の自分自身の活動を振り返りました。それぞれが語る5ヶ月は、自身の足で歩いたからこそ出てくる言葉に溢れていました。9月から新たに10期中高生スタッフの活動がスタートしています。12月までの4ヶ月間が爽りある活動になるよう私たちスタッフも丁寧な伴走をしていきたいと思っています。

b-lab情報は公式Webサイトより
<http://b-lab.tokyo/>

ビーラボ 文京区 検索

1. b-labからのお知らせ

『Cha!Cha!Cha!』Vo1.8 9月発行

中高生スタッフ8名が中心となり、4月より取材・デザイン・編集などの制作に取り組みました。今号のテーマは「〇〇の秋」。テーマに合わせた各ページの企画内容となっています。

生徒の皆さんに配布していた
だくと共に、先生にもご覧
いただけたら幸いです。

*『Cha!Cha!Cha!』は毎年2回、
文京区内のすべての中学・高校に
配布しているフリーペーパーです。



高校生がデザインした『Cha!Cha!Cha!』vol.8表紙

2. b-labスタッフ紹介

b-labで英語をきっかけに“異文化”に興味を持つ！

私は6歳から19年間オーストラリアに住んでいました。オーストラリアへ引っ越したとき、もともと英語が苦手でしたが、自分の殻を破って話すことで自信を持つことができました。同時に、様々なバックグラウンドを持つオーストラリアの人との関わりは、多くの価値観に触れる機会にもなり、今の私自身の価値観にもつながっています。

その経験を大事にしながら、毎週土曜日「英会話で！マナビ場！」を担当しています。b-labに来ている中高生は、学年も学力も様々なので、内容もその時々によって臨機応変に変わります。英語に苦手意識を持っている中高生が多い時には、英語に対するハードルが低くなるよう英語を使ったゲームや映画鑑賞、中高生の声から翻訳に挑戦したこともあります。

英語に触れることは海外の文化に触れる機会です。プログラム中、ただ新しい英語を覚えるだけではなく、1つの言葉の背景にあるその国の文化についても伝えています。同じ英語を使うオーストラリアとアメリカでも異なる部分がありますし、そういった文化の違いにも興味を持つきっかけの場になればいいなと考えています。(石ヶ谷)



ゆうこりん
(石ヶ谷 優子)



中高生の活動レポート
施設利用については裏面へ ▶▶▶

3. イベント レポート

8月21日(月)・22日(火)に開催した**b-lab Summer Fes '17**の様子をお伝えします!

■ラジオコーナー

中学3年生とスタッフがDJに扮してラジオをお送りしました。中学生が企画段階からこだわり、実施につながりました。事前に中高生から集めたエピソードを話しながら、リクエストに応じて様々な曲を流し、b-lab全体の雰囲気をつくってくれました。

■ピンポイントプレゼン

自分の興味のあることで10分間プレゼンをする企画です。b-labフェスで開催するのも今回3回目となり、恒例イベントとなりました。事前に館内でプレゼンしてくれる中高生を募集したところ、今回も想定よりも多くの応募がありました。最終的にはスタッフも含め、10名によるプレゼンが繰り広げられ、内容も「エシカルファッション」「みかんについて」「宝塚の魅力」等多岐に渡りました。

▶▶当日プレゼンをした高校生にインタビュー!

ーピンポイントプレゼンをやってみて、どうだった?

いざ皆の前に立つと、緊張で膝がガクガクして全身震えるぐらい緊張しました。人生で一番緊張したかも。

でも、普段の生活では自分のことを発信することは少ないので、「やってよかった」と心から思っています。

ー自分のプレゼンは何点?

70点くらい。いざ本番となると早口になったり、視線に困ったり。内容ももっと深めた内容を伝えなかったなあ。

ーまたやりたい?

絶対またやりたい。同じ内容でも構成の仕方でも伝わり方は変わるし、何を伝えるのか、どこで笑いを取るかももっと追求したい。次回はこんなに緊張しないと思うし、もっとできると思うんです!楽しみにしてください!



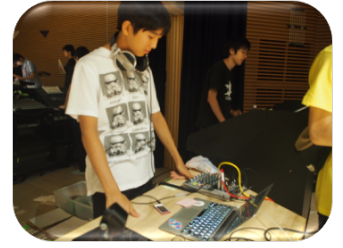
▲プレゼン中の高校生



▲多種多様なプレゼンにみんな興味津々



▲ライブの様子



▲ライブの裏方を支えたPA、照明、DJたち

■中高生夏フェスライブ!

フェスといえばライブ!今回は、全6組が出演しました。今回のためにb-labでバンドメンバー募集をして集まったバンドやb-labジャズバンドであるBAZZ等が演奏し、聞き応えのあるライブとなりました。当日PAや照明、DJとしての裏方も中高生自身が行いました。

- ・今までで一番MC(ライブの合間に話すこと)が上手くできた。緊張はしていたけど、よかった。【高2男子】
- ・DJとして参加して曲を流していたけど、その場に合った曲をアレンジして流すのは難しかった。曲が変わると雰囲気も変わるから、自分がその場をどうしたいか次第。次回はもっとチャレンジしたい。【高1男子】

■フェイスペイント

夏らしいイラストをペイントした来場者たちが、夏フェスの雰囲気を一段と盛り上げていました。参加者同士がお互いに描き合うことで交流が生まれました。

- ・リクエストに応じて描いてあげると、みんな喜んでくれて嬉しかった。【高1女子】

■b-lab食堂 ~夏フェスver.~

月に1度実施している「b-lab食堂」が夏フェス特別ver.として開店、カレーライスを作りました。準備や配膳を積極的に手伝う中高生の姿が見られました。

- ・喜んでくれる人がいると嬉しい。1日キッチンスペースにいたけど、ずっと楽しかった!【中1女子】

■リアル野球盤

屋外のプレイヤードでは、「リアル野球盤」を実施。野球経験は関係なく、参加者全員で楽しく汗をかきました!

4. b-lab施設活用

中高生の活動の受け皿に。部活動や学校行事の準備等にもご活用ください!

夏休みに入ってから、b-labで文化祭の準備を進める中高生が見られるようになってきました。ダンスやバンド、吹奏楽の練習に励む姿やポスターや看板、衣装を制作する姿がよく見られます。学校の施設が使用できない時に、準備を進めたい、練習したいという中高生の受け皿となれるのはb-labとしても非常に嬉しいことです。大きな鏡のあるホール、大小音楽スタジオ等、b-labの施設が中高生の成長の糧となれば幸いです。



5. b-labへ行く



住所: 文京区湯島四丁目7番10号
アクセス: 大江戸線「本郷三丁目駅」から徒歩8分
丸の内線「本郷三丁目駅」から徒歩10分

電話: 03-5800-2731
千代田線「湯島駅」から徒歩8分
都営バス「湯島4丁目」から徒歩5分

編集後記

本号をお手にとっていただき誠にありがとうございます。年に2回発行をしている「Cha!Cha!Cha!」vol.8が先日9月4日に発行されました。私自身、今号から中高生と一緒に制作に関わり、ゼロから作り上げる楽しさと大変さを中高生と共に感じる事ができました。8人の中高生スタッフそれぞれの挑戦と頑張りが詰まった「Cha!Cha!Cha!」vol.8をご覧いただけたら幸いです。(佐渡)



詳しくはb-lab公式Webサイトへ
<http://b-lab.tokyo/>

ビーラボ 文京区 検索